

## 水薬の誤飲事例について

### 1. 平成 21 年度ヒヤリ・ハット体験調査（東京都生活文化スポーツ局）

- (ア) テーマ「幼児の身の回りの危険」
- (イ) 調査対象 東京都（全域）に在住する 1 歳から 6 歳までの子供がいる人 4,064 人
- (ウ) 調査期間 平成 21 年 8 月 5 日(水)から 8 月 24 日(月)まで
- (エ) 調査方法 インターネットによるアンケート形式で実施
- (オ) 水薬の誤飲（ヒヤリ・ハットを含む）事例

経験時の子供の年齢・性別	ヒヤリ・ハット・誤飲の内容	
2 歳男児	医療機関は受診しなかった	2 歳ころ、病院でもらった風邪薬（甘い味付けのシロップ）を 1 日 3 回飲ませていて、かたづけ忘れ、テーブルの上に置いたままにしていたところ、残りを全部飲みほしてあった（2 日分程）。とても驚き、病院に電話したところ、家で様子を見て、何かあれば受診するように言われたが、何もなかった。
2 歳女児	医療機関は受診しなかった	医師から処方された、シロップの薬を目を離した際に飲み干してしまい、フラフラになった。病院に相談した所一過性のものだから 大丈夫との事で受診しなかった
2 歳男児	医療機関を受診	息子は甘いシロップの薬が大好き。当時風邪気味だった息子に一回分の薬を飲ませた後、手の届かない高い場所へ薬を置き他の用事の為その場を離れた私。気づくと息子は椅子を使って、三日分の薬全てを飲み干してしまっていました。すぐに受診し、一晩様子を見ることに。大事には至りませんでした
3 歳男児	医療機関を受診	当時 2 歳（3 歳？）の息子が、台所に置いてあった、子供用の風邪薬を一気飲みした。薬を処方された病院に連れて行っただが、特に心配不要とのことで、特別な治療は行なわなかった。
2 歳女児	入院	液体の風邪薬のボトルを居間においておいたところ、キャップをはずし、100ml 程度飲んでしまった。

## 2. 平成 22 年度ヒヤリ・ハット情報分析事業（東京都生活文化局）

- (ア) テーマ「誤飲による乳幼児の危険」
- (イ) 調査対象 東京都に居住する 0 歳から 6 歳までの子供がいる人 2,000 人
- (ウ) 調査期間 平成 22 年 7 月 15 日(木)から 7 月 22 日(木)まで
- (エ) 調査方法 インターネットによるアンケート形式で実施
- (オ) 水薬の誤飲（ヒヤリ・ハットを含む）事例

経験時の子供の年齢・性別	ヒヤリ・ハット・誤飲の内容		
3 歳女兒	ヒヤリ・ハット	口に入れそうになった	3 歳の時、蓋を押し下げて開けるタイプの風邪シロップを自力であけて飲もうとしたところを見つけとりあげた。
2 歳女兒	ヒヤリ・ハット	口に入れそうになった	シロップ薬を自分でのみみたいと手に持っていました
2 歳男児	ヒヤリ・ハット	口に入れそうになった	パッケージにキャラクターの絵が描かれており、おそらくジュースと間違えたのだろう。ふたを開けられずに、泣いていた。ふたが子供には開けづらい構造になっていたおかげで、助かりました。
1 歳男児	ヒヤリ・ハット	口に入れたが飲み込まなかった	1 歳を過ぎたあたりなので 5～6 ヶ月ほど前、市販のシロップの薬をキャップに入れ、それをスプーンで飲ませたあと、置きっぱなしにしていたキャップを口に入れていた。口をもごもごしていたので、慌てて指で掻きだすように取りだしました。
2 歳女兒	誤飲	医療機関は受診せず	シロップの風邪薬で、メモリを多く飲ましてしまった。
3 歳男児	誤飲	医療機関を受診した	テーブルに置いてあったシロップの風邪薬 2 日分ほどを全部飲み込んだ。医師に相談したが、強い薬ではないので、家で様子を見るように言われた。

### 3. 家庭用品に係る健康被害病院モニター報告(厚生労働省)

(ア) 調査方法 モニター病院の協力による情報収集

(イ) 水薬の誤飲(ヒヤリ・ハットを含む)事例

	原因製品	患者・症状	誤飲時の状況	処置及び経過	医師のコメント
平成20年度	シロップ剤 (風邪薬)	1歳2か月男児 (興奮状態、入眠できず)	風邪の症状に対して、2歳6カ月の兄に処方されたシロップを飲み干しているのを発見した。薬瓶のキャップは、兄が開けたと思われるが、発見時に兄は別の玩具で遊んでいた。	入院1日	——
	シロップ剤 (消炎酵素薬)	2歳8か月男児 (発疹)	食事前にシロップ剤46mlを飲んでしまった。	点滴	病院で処方された薬の管理が大切です。味がよいシロップ剤は、子どもが大量に飲んでしまいます。
平成19年度	シロップ剤	2歳女児	20時45分ごろ、抗ヒスタミン薬、鎮咳薬等のシロップ剤を1回分飲ませた。21時20分に、小児が空の容器を持っていた。自分で飲んだ様子(20ml程度)	特に症状は無かったが、経過措置をかねて1日入院	こども用シロップは、味がよいため多量誤飲を起ししやすい。シロップ容器のキャップがプッシュターン(セーフティキャップ)でなければあかないものにすることを徹底すべき
平成18年度	シロップ剤	2歳10か月女児 症状 興奮、他	誤飲時の状況 医療用医薬品・抗ヒスタミン薬のシロップ剤を冷蔵庫で保管していたが、気付くと空の容器が転がっており、女児の様子がおかしかったため来院。	点滴後、帰宅	家庭内での医薬品類の保管場所には注意が必要。冷蔵庫に入れるのみでは不十分である。
平成17年度	シロップ剤	3歳3か月男児 症状 やや傾眠傾向	市販の子ども咳止めシロップをほとんど飲んでしまった。 来院前の処置 吐かせようとするも吐かず。	点滴後帰宅	家庭内での医薬品類の保管場所には注意が必要。